

2020年度 事業報告と決算について

第159回組合会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況を鑑み、オンライン形式での開催といたしました。2020年度事業報告など、4件の議案について審議され、原案通り承認されました。

議決事項

- 第1号議案 2020年度事業報告の件
- 第2号議案 2020年度収入支出決算の件
- 第3号議案 2020年度収入支出決算残金処分の件
- 第4号議案 組合規約第4条「設立事業所の名称及び所在地(別表)」一部変更の件

事業報告

2020年度は重点施策として、『加入者の健康の保持増進につながる積極的な支援とサービスの提供』、『加入者の安心と信頼につながる公正で適正な事業運営』、『事業主との積極的連携による各種取組みの効率化と成果向上』、『日通健保における組織強化と人材育成』を基本方針に掲げ、具体的には以下の取り組みを行いました。

保健事業

- 最重要課題「生活習慣病対策」の実行性向上
2大テーマ「肥満対策」「喫煙対策」
 - 疾病予防および健康の保持増進に資する施策の展開
 - データ分析力および情報発信力の強化
 - 各種補助事業の見直しと整理
- 〔2020年度結果〕
- 肥満：47.0% (対前年 1.0ポイント増)
 - 喫煙：36.2% (対前年 1.3ポイント減)
 - 人間ドック受診率：36.1% (対前年 39.7ポイント減)



適用・給付事業

- 公平・公正・迅速な資格審査と保険給付の継続実施
- 医療費適正化に向けた取組みの強化
- 国の各種施策に関する情報収集ならびに対応の実行
- 加入者サービス向上とシステムセキュリティの対策強化

事業主との連携

- 事業主の施策と連携、協働した諸施策の推進
- 「健康経営」推進に向けた職場環境整備への提言強化
- グループ経営体制変更への適切な対応

組織強化と人材育成

- 個の成長と組織の活性化に資する諸施策の推進
- 母社社員制度を踏まえた魅力ある新人事制度の構築と運営
- ホスピタリティあふれる組織の構築に向けた教育と意識改革の実現

2020年度決算概要について

収入面では、予算に比べて被保険者数は増加しましたが、平均標準報酬月額が減少したこと等により、健康保険収入は278億8千8百万円となり、対予算1.1%減少、対前年でも1.4%の減少となりました。

一方、支出面では、保険給付費は140億1百万円であり、対予算8.1%減少、対前年でも3.3%の減少となりました。これは新型コロナウイルス感染症の拡大により、病院や診療所に行かない、いわゆる「受診控え」が発生したため、療養給付費や家族療養費が大幅に減少したものです。また、高齢者医療制度への納付金・支援金額の合計は、119億4千5百万円で、対前年度3億6千9百万円の増となりました。

以上の結果、2020年度の経常収入は279億5千9百万円、経常支出は272億2千1百万円となり、経常収支差引は7億3千8百万円の経常黒字となりました。

しかしながら、2022年から団塊の世代が後期高齢者になり始め、納付金である後期高齢者支援金の急増が見込まれており、今後は当健康保険組合も財政赤字が予想されます。そのため、一層の緊縮化、効率化に取り組むとともに、加入者の皆さまの疾病予防および健康の保持増進に資する施策を積極的に展開し、将来的には保険給付費の抑制に取り組んでまいります。